

防コミの歩き方



それいけ未来の防災リーダー

●防コミ2地区が力を合わせて

兵庫区の浜手に位置する、明親校区防災福祉コミュニティ・入江地区防災福祉コミュニティが合同で実施した、須佐野中学校の防災学習に密着しました。

●防災ジュニアチームの輩出

須佐野中学校では、中学2年生に対して毎年防災学習を行っています。(令和5年度で23回目、今年度の参加者は131名)

防災学習の中では「防災ライセンスチーム」と背中に書かれたビブスを生徒全員が身に着け、修了時には「防災ジュニアライセンスチーム」の修了証を受け取り、一人ひとりが防災の主体者であるという自覚を高めています。

●防災学習スタート！

令和5年5月27日に実施した防災学習の様子をお伝えします。当日は快晴。5月にも関わらず気温・湿度が高い1日でした。そんな中でも集まった須佐野中学校2年生はやる気いっぱい！

簡易担架によるクマ人形搬送、簡易トイレの見学、粉末消火器による消火訓練、水消火器での消火訓練、可搬式小型動力ポンプによる放水体験と、盛りだくさんの内容を全員が実施しました。

簡易担架によるクマ人形搬送では、毛布を利用して担架を作り、クマ人形を落とさずに運ぶことができました。粉末消火器は代表者による訓練となりましたが、実際に燃える炎に向かって本物の消火器で消火するとあって、実施者も見学者も真剣そのもの。消火器内のピンク色の粉末を初めて見た方も多かったのではないのでしょうか。消防団員の指導もあり、無事に消火することができました。そして最後は小型動力ポンプを使っての放水訓練です。3~4名を1チームとし、全員が筒先を持って放水体験をしました。最初はその水圧の強さに驚いた様子でしたが、ホースを離さないようにチームで協力して、最後までしっかりと放水することができました。

●さいごに

今回の防災学習では、防災福祉コミュニティはもちろん、消防団と地域の事業所の協力もあり実現することができました。これも、地域で顔の見える関係を長年築いてきた賜物と言えると思います。若い世代の防災意識を高めることは、未来の地域の防災力を高めることに繋がります。これからも地域一丸となって防災活動を進めていきます。

(兵庫消防署 地域防災調整者)

